

発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目/全2枚)

氏 名 上野 清 隆

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
1	(1)	<p>加賀市における医療的ケア児への支援体制について 支援体制の現状について</p> <p>加賀市は平成30年度から医療的ケア児支援を行っているとのことであるが、令和3年9月には医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が施行され、自治体の支援は「努力義務」から「責務」となった。法律が施行されて3年目になるが、現在の加賀市における医療的ケア児への支援体制の状況を問う。</p>	
	(2)	<p>関係機関との緊密な連携体制の構築について</p> <p>医療的ケア児やその家族が地域で安心して生活していくためには、行政、医療、福祉、保育、教育その他関係機関との緊密な連携体制が必要と考える。また、医療的ケア児等コーディネーターの役割も期待されるが、所見を問う。</p>	
2	(1)	<p>レジジョ・エミリア・アプローチについて レジジョ・エミリア・アプローチの進捗状況について</p> <p>保育園での「創造性を育む保育・教育」の実践ということで、レジジョ・エミリア・アプローチに取り組み、「まちの研究所株式会社」との包括連携協定を締結しているが、「まちの研究所株式会社」は具体的に何をするのか。 また、レジジョ・エミリア・アプローチの進捗状況を問う。</p>	
	(2)	<p>人材育成や空間設計について</p> <p>レジジョ・エミリア・アプローチでは、子供たちの自由な表現を促し創造力を伸ばすことに重きを置いているということで「ペダゴジスタ（教育主事）」と「アトリエリスタ（芸術担当教師）」が配置されるが、どのように育成するのか。 また、「ピアッツァ（共同広場）」や「アトリエ」などの独特の空間が必要になるが、どのように整備するのか。</p>	
	(3)	<p>法人立保育園との連携について</p> <p>レジジョ・エミリア・アプローチを公立保育園で実施していくようだが、加賀市全体の取組とするためには法人立保育園との連携が必要であると考え、所見を問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全2枚)

氏 名 上野 清 隆

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
3	<p>災害時や緊急時等のドローンの活用について 全国的に災害時や緊急時等におけるドローンの活用が注目されてきているが、加賀市において災害時や緊急時におけるドローンはどのように活用することを想定しているのか。</p>	